

平成 18 年度山下記念研究賞表彰（概要）

詳細は学会 Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/>) をご覧ください。

山下記念研究賞は、これまでは研究賞として本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られていたものですが、故山下英男先生のご遺族から学会にご寄贈いただいた資金を活用するため、平成 6 年度から研究賞を充実させ、山下記念研究賞としたものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。本賞の選考は、表彰規程、山下記念研究賞受賞候補者選定手続および山下記念研究賞推薦内規に基づき、各領域委員会が選定委員会となって行います。本年度は 33 研究会の主査から推薦された計 57 編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、決定されたうえで、第 519 回理事会（平成 18 年 7 月）および調査研究運営委員会に報告されたものです。本年度の受賞者は下記 57 君で、3 月 6 日に早稲田大学で開催される第 69 回全国大会の席上で表彰状、賞牌、賞金が授与されます。

[コンピュータサイエンス領域]

- **iSCSI ストレージアクセスのトレースシステム**
[2004-DBS-134 (2004.7.14)] (データベースシステム研究会)
山口実靖君 (正会員)
- **Web データベースにおける入力フォーム情報の自動抽出**
[2005-DBS-136 (2005.5.20)] (データベースシステム研究会)
中藤哲也君 (正会員)
- **RTOS に基づいたソフトウェアのための検査ライブラリ**
[組込みソフトウェアシンポジウム 2005 (2005.10.18)] (ソフトウェア工学研究会)
青木利晃君 (正会員)
- **MP3 エンコーダを用いたヘテロジニアスチップマルチプロセッサの性能評価**
[2006-ARC-166 (2006.1.24)] (計算機アーキテクチャ研究会)
鹿野裕明君 (学生会員)
- **電力制約下での高性能計算機クラスタ構成手法**
[2006-ARC-167 (2006.2.28)] (計算機アーキテクチャ研究会)
池田佳路君 (学生会員)
- **実時間シグナルを用いたポーリング I/O ライブラリの設計**
[コンピュータシステムシンポジウム 2004 (2004.11.16)] (システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会)
河合栄治君 (正会員)
- **単一システムイメージを提供するための仮想マシンモニタ**
[コンピュータシステムシンポジウム 2005 (2005.11.29)] (システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会)
金田憲二君 (正会員)
- **順序回路のタイミング例外バスの検出のための実用的方法**
[2004-SLDM-117 (2004.12.2)] (システム LSI 設計技術研究会)
樋口博之君 (正会員)
- **不完全定義多出力論理関数を表現する BDD とその応用について**
[2004-SLDM-117 (2004.12.2)] (システム LSI 設計技術研究会)
松浦宗寛君 (正会員)
- **任意回路構造に対する最小幅トランジスタ配置のための計算量削減手法**
[DA シンポジウム 2005 (2005.8.24)] (システム LSI 設計技術研究会)
飯塚哲也君 (学生会員)
- **2.16GHz SPARC64 マイクロプロセッサ設計用タイミング・レイアウト設計手法**
[DA シンポジウム 2005 (2005.8.26)] (システム LSI 設計技術研究会)
伊藤則之君 (正会員)
- **動的アクセスパターン解析によるソフトウェア分散共有メモリ**
[先進的計算基盤システムシンポジウム 2004 (2004.5.28)] (ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)
松葉浩也君 (学生会員)
- **大規模 SMP クラスタにおける固有値ライブラリの通信最適化について**
[2006-HPC-105 (2006.2.27)] (ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)
今村俊幸君 (正会員)
- **Deductive system による C プログラムのポインタ解析**
[(2005.6.2)] (プログラミング研究会)
千代英一郎君 (正会員)
- **閉ジャクソンネットワークに対するパーフェクトサンプリング法**
[2004-AL-97 (2004.10.14)] (アルゴリズム研究会)
来嶋秀治君 (学生会員)
- **Compact Encoding of Plane Triangulations with Efficient Query Support**
[2005-AL-101 (2005.5.19)] (アルゴリズム研究会)
中野眞一君 (正会員)
- **3 択行動エージェントによる金融市場のモデル化**
[MPS シンポジウム 2005 (2005.10.13)] (数理モデル化と問題解決研究会)
佐藤彰洋君 (学生会員)

[情報環境領域]

- **ユーザ指向ストリーミングサービスのための映像の主観品質と映像コンテンツの関係を利用した映像分類手法**
[マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (2005.12.2)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)
加藤由花君 (正会員)
- **シミュレーションによる Heavy-tailed トラフィックの特性解析**
[2006-DPS-126 (2006.3.17)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)
中嶋卓雄君 (正会員)

- 物理指向補間による弾性体アニメーションの制御手法
[Visual Computing・グラフィクスとCAD 合同シンポジウム (2005.6.16)] (グラフィクスとCAD 研究会)
近藤 亮君 (正会員)
 - 美しい曲線セグメント
[2005-CG-121 (2005.11.19)] (グラフィクスとCAD 研究会)
吉田典正君 (正会員)
 - コンピュータグラフィックによる永福寺の復原
[2005-IS-91 (2005.3.16)] (情報システムと社会環境研究会)
大滝由明君 (正会員)
 - MDA によるコンポーネントベースモデリングの実例
[2005-IS-93 (2005.8.25)] (情報システムと社会環境研究会)
浜口弘志君 (正会員)
 - 最大マージン原理にもとづく多重トピック文書の自動分類
[2004-FI-76 (2004.9.16)] (情報学基礎研究会)
賀沢秀人君 (正会員)
 - A Further Note on Evaluation Metrics for the Task of Finding One Highly Relevant Document
[2006-FI-82 (2006.3.22)] (情報学基礎研究会)
酒井哲也君 (正会員)
 - 画像情報のデータ量削減型階層秘分散法に関する検討
[2006-AVM-52 (2006.3.3)] (オーディオビジュアル複合情報処理研究会)
橋本真幸君 (正会員)
 - 学習者の注目を集めることができる講義映像コンテンツの自動作成
[2006-GN-59 (2006.3.23)] (グループウェアとネットワークサービス研究会)
中村亮太君 (学生会員)
 - 操作者を識別可能な協調学習用多点認識テーブルトップインタフェース
[2006-GN-59 (2006.3.23)] (グループウェアとネットワークサービス研究会)
北原圭吾君 (学生会員)
 - ディスクリス環境の教育用計算機システムに適した Linux システムの実装
[分散システム／インターネット運用技術シンポジウム 2004 年度 (2004.12.10)] (分散システム／インターネット運用技術研究会)
榊田秀夫君 (正会員)
 - 大学における印刷管理の新しい試み
[2005-DSM-38 (2005.8.5)] (分散システム／インターネット運用技術研究会)
安東孝二君 (正会員)
 - デジタルドキュメント研究 10 年の傾向
[2005-DD-50 (2005.5.27)] (デジタルドキュメント研究会)
斎藤伸雄君 (正会員)
 - MobiSNMP:SNMP over Mobile IPv6 による移動体情報の継続的収集方法
[2005-MBL-33 (2005.5.26)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)
北形 元君 (正会員)
 - アドホックネットワークにおける送信電力制御を用いた省電力ルート構築法
[2005-MBL-34 (2005.9.15)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)
萬代雅希君 (正会員)
 - 送信者に認証機能を付加したブロードキャスト暗号
[コンピュータセキュリティシンポジウム 2005 (2005.10.27)] (コンピュータセキュリティ研究会)
金沢史明君 (学生会員)
 - 無線 LAN システムにおけるシームレスユーザ認証方法に関する考察
[マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2005) シンポジウム (2005.7.8)] (コンピュータセキュリティ研究会)
朴 美娘君 (正会員)
 - プローブカーデータのリアルタイム補完技術
[2005-ITS-20 (2005.3.11)] (高度交通システム研究会)
熊谷正俊君 (正会員)
 - 車群ネットワークを利用した高信頼性 MAC プロトコルについて
[2005-ITS-21 (2005.6.17)] (高度交通システム研究会)
和田脩平君 (学生会員)
 - 複数無線基地局同時利用のための LIN6 の拡張
[2005-QAI-17 (2005.10.28)] (高品質インターネット研究会)
藤川賢治君 (正会員)
 - ホタテ養殖支援のための小型海洋観測ブイの開発
[2006-UBI-10 (2006.2.17)] (ユビキタスコンピューティングシステム研究会)
和田雅昭君 (正会員)
- [フロンティア領域]
- 高性能計算環境を用いた Web からの大規模格フレーム構築
[2006-NL171 (2006.1.13)] (自然言語処理研究会)
河原大輔君 (正会員)
 - 極性反転に対応した評価表現モデル
[2005-NL168 (2005.7.23)] (自然言語処理研究会)
高村大也君 (正会員)
 - 架空名義入札に頑健なオークションプロトコルの計算論的制度化設計
[2006-ICS-143 (2006.3.28)] (知能と複雑系研究会)
松尾徳朗君 (正会員)
 - 周波数領域における方向変換モデルを用いた歩容認証
[2006-CVIM-152 (2006.1.20)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)
横原 靖君 (正会員)

- 疎テンプレートコンデンセーション法による見え情報の学習を伴う実時間物体追跡
[2006-CVIM-153 (2006.3.17)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)
尺長 健君 (正会員)
- プログラミング入門教育用学習環境 PEN
[2005-CE-81 (2005.10.22)] (コンピュータと教育研究会)
中村亮太君 (正会員)
- Java プログラミング入門単位認定型完全 e-learning へ向けての試み～評価バージョン～
[2005-CE-82 (2005.12.10)] (コンピュータと教育研究会)
高岡詠子君 (正会員)
- 親族関係分析システム「アライアンス」による「宗門改帳」分析の試み
[人文科学とコンピュータシンポジウム (2005.12.17)] (人文科学とコンピュータ研究会)
杉藤重信君 (正会員)
川口 洋君 (正会員)
- ドラムパターン推定によるドラム音認識誤り補正手法
[2005-MUS-61 (2005.8.5)] (音楽情報科学研究会)
吉井和佳君 (学生会員)
- 多次元尺度構成法による音響空間の2次元可視化
[2004-SLP-52 (2004.7.17)] (音声言語情報処理研究会)
庄境 誠君 (正会員)

- 音声訂正の評価
[2005-SLP-57 (2005.7.15)] (音声言語情報処理研究会)
緒方 淳君 (正会員)
- 公共音声情報案内システム「たけまるくん」の運用および収集発話の分析
[2004-SLP-53 (2004.10.22)] (音声言語情報処理研究会)
李 晃伸君 (正会員)
- SLP 雑音下音声認識評価 WG 活動報告 - 評価用データと評価手法について -
[2005-SLP-59 (2005.12.22)] (音声言語情報処理研究会)
中村 哲君 (正会員)
- ゲームの著作物性とゲームソフトの競争フィールド設定
[2006-EIP-30 (2006.2.18)] (電子化知的財産・社会基盤研究会)
板倉陽一郎君 (正会員)
- ボードゲーム「シンペイ」の完全解析
[2006-GI-15 (2006.3.7)] (ゲーム情報学研究会)
田中哲朗君 (正会員)
- 楽曲の技術的な敷居を低くする手法の開発に向けて
[2006-EC-3 (2006.3.13)] (エンタテインメントコンピューティング研究会)
大島千佳君 (正会員)
- 能動学習を用いた創薬スクリーニング方法
[2005-BIO-1 (2005.7.25)] (バイオ情報学研究会)
麻生川稔君 (正会員)

情報処理学会の会員になりませんか!

社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として 21 世紀情報化社会の発展に向け、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

情報処理学会は IT 分野の皆様のお役に立ちます。

新規会員
募集中

■活動の概要

- 機関誌(「情報処理」「情報処理学会論文誌」)の発行
- 各種行事の開催(研究発表会、全国大会、情報科学技術フォーラム(FIT)、シンポジウム、連続セミナー他)
- 情報処理教育活動
- 国際交流
- 標準化活動
- 出版活動

■ご入会いただくとこんな良いことがあります

- 1 最新技術を紹介する機関誌「情報処理」が毎月お手元に届きます。
- 2 電子図書館(BookPark)で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。
- 3 「連続セミナー」に会員価格で参加できます。
- 4 「シンポジウム」に会員価格で参加できます。
- 5 「研究発表会」に会員価格で参加できます。
- 6 出版図書が会員割引で購入できます。
- 7 《学生会員の方は》お好きな研究会を1つ無料で登録できます。
- 8 《学生会員の方は》IP SJ Digital Courier に論文が掲載されると、船井財団により表彰され賞金がもらえます。

■会員になるには

会費等をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。詳しくは以下をご覧ください。

↓
www.ipsj.or.jp

- 個人会員
正会員：当学会の中心的会員で、IT 分野に携わる個人
学生会員：学校に在学中の個人
準会員：専門外の高校、中学校等の教職員、地方自治体等に勤務の個人
名誉会員：当学会の活動において特別な功績のあった個人
- 賛助会員：当学会の活動をサポートする法人

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、8月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「シンビオティック・システムの実現に向けて―人、社会、環境、情報システムの協調系―」につきましては、以下のようのご感想・ご意見をいただきました。

■ Symbiotic Computing の特集は大変興味深く読ませていただきました。1つ1つの記事が1冊の本になる内容のものを、著者はうまくとまとめていると思いました。現在は、国の研究機関で研究されているレベルですが、将来、企業や行政と提携して、社会のインフラとなって欲しい技術が多くありました。(匿名希望)

■ まだ実生活と結びつけて考えにくくて、あまりピンと来ませんでした。(匿名希望)

■ 大変重要な研究課題であると思いますが、この研究が人間の幸せを増進してくれるものかどうか、若干の戸惑いを覚えました。(匿名希望)

■ シンビオティック・システムについてのまとまった議論が展開されており、興味深く拝見させていただきました。ただ、内容的に重複する部分が少々目につきました。(平川正人)

■ 記事中で提案されているソーシャルウェアのグループは固定であることが前提となっていますが、本来は時系列に従い生成や消滅を行い、ダイナミックに変動することを検討することが必要であると考えます。人やモノのグループのプレゼンス情報について研究していますので、この記事は非常に参考になりました。(平島大志郎)

■ 特集記事は、一貫して概念などを図示するよう配慮されていたようで、記事全体としても読みやすかったと思います。今後もこのような方針で特集記事を組んでいただけるとよいのではないのでしょうか。(匿名希望)

■ シンビオティック・システムの特集を読んで、大変興味を持ちました。私は小さい頃からコンピュータに接してきたので、コンピュータや情報機器などの、その時々レベルや構造に自分の方が歩み寄ってしまいがちです。このような自分はシンビオティックな発想が乏しいと、改めて考えさせられました。(匿名希望)

■ symbiosis という概念について常日頃から深い関心を持っていた。今回の企画はその関心に十分に応えるものであった。上野氏の「共生は日本文化となじみやすい概念であり、伝統文化を意識したITの研究は我が国の独創性を発揮できる貴重な枠組みになる」という主張にはまさに同感である。この記事では日本と欧米での symbiosis に対する考えの違いがよく分析されており、このような比較の視点も重要だと痛感した。1.~6.は内容的には充実していたが、カタカ

ナ語の使用が過剰のように思われた。あまりカタカナが多いと英語で読んだほうが良いと思ってしまう。(匿名希望)

■ 「1. Symbiotic Computing ―ポスト・コピキタス情報環境へ向け―」:コピキタス環境における現実空間とデジタル空間とのギャップに言及している点に興味を持ちました。人間が現実生活中に生きている社会の中で、コンピュータがいかに役立つかが重要だということに共感を抱えます。(菊地 誠)

■ 「8. シンビオティック・システムの文化的側面の考察」:日本と欧米の文化の違いはよくいわれることですが、この記事はシンビオティック・システムという観点からよく整理されて書かれていると思いました。欧米と日本でのヒューマノイド・ロボットに対する感じ方のギャップは、埋めることのできない差であると改めて感じました。(匿名希望)

ミニ小特集「コンピュータ将棋の新しい動き」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■ 将棋ソフトにおけるパラメタ自動チューニングの詳細が知りたい。パラメタ自動チューニング技術は、探索を必要とする他のソフトウェアにおいても有効であり、重要な技術であることを再認識した。(匿名希望)

■ 将棋の人工知能技術で、詰め将棋の検出といった、人間が思考する際に行う処理を持たないソフトウェアが優勝したのは驚きです。他の分野における人工知能の応用においても、特殊な人間の思考状態を組み込まなくても、評価項目を多くし、自動調整できれば適用範囲が広がるかもしれないと感じました。(匿名希望)

■ 将棋のルールを知らないのに、コンピュータ将棋を研究テーマにしたがる学生が意外と多いように思われます。昔は、将棋と囲碁は、大学生ともなれば自然と慣れ親しんできたものですが、今の世代には、将棋や囲碁は身近ではないのかもしれませんが。(水野光朗)

■ コンピュータ将棋の小特集を楽しませていただきました。自分が関係することは多分ないと思いますが、コンピュータ利用の分かりやすい事例として、今後も時々取り上げて欲しいと思います。今気付いたのですが、棋譜は、知らない人には読み方も分からないですね。このような紙面の場合には分かる人に分ければよいとはせず、一般人への説明になるようにすべきであると感じました。(匿名希望)

■ コンピュータ将棋に関しては、日本将棋連盟からコンピュータと将棋を指すことを禁止されるなど「情報処理」とはいえない事情が積み重なってしまふ。情報処理というのはさまざまな分野との協調が大切だと思うので、このような他分野の方からの発言は貴重であると思う。(匿名希望)

■ 将棋の記事は、昔、森田オセロなどをPC-8001(だったかな)で実行させて楽しんでいたころを思い出し、懐かしく思いました。将棋のプログラミングでは、まだ地道なアルゴリズムの改良が行われていることをこの記事で知りました。プロを常に負かしてしまうような日がくるのでしょうか。興味のあるところです。(匿名希望)

■ 「2. 今年の選手権を観戦した女流プロとしての戸惑い」:技術者ではない、プロの棋士の視点で書かれた記事が面白かった。(匿名希望)

解説「高速電力線通信の現状と技術課題」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■ PLC は、短波放送に与える影響がきわめて大きいと指摘されています。今の日本で短波放送を聞く人はそれほど多くはないかもしれませんが、短波放送の受信に与える影響についても論及した方がよかったのではないかと、思います。(水野光朗)

連載「ナレッジマネジメント『ナレッジマネジメントにおけるテキストマイニング』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■ CGM について興味がありましたので、Web マーケティングについての消費行動モデルの変化とブログの解析による「見える化」は、興味深く読めました。(平島大志郎)

■ SECI モデルを拡張する理論的側面と、提案理論に基づく技術的側面が事例を交えて分かりやすく説明されており、きわめて興味深い解説記事であった。(匿名希望)

■ p.896 の左コラム下から 2 行目は Word of Mouth だと思う。キーワードは間違いのないようにしたい。(匿名希望)

コラム「標準化よもやま話『少数利用者文字と歴史的文字の標準化と IT 業界』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■ ファイストスの円盤に描かれた文字を手がかりとして、歴史的文字の標準化の問題について述べられていました。少数利用者文字の場合は、歴史的文字とは問題の性質を異にします。すなわち、少数民族の問題(エスニック問題)と少数利用者文字の問題は、表裏一体であり、民族自決権ともつながっています。たとえば、チベット語の場合、中国政府の定めた正書法とチベット亡命政府の定めた正書法は異なっており、中国政府の正書法を採用するか、それとも、チベット亡命政府の正書法を採用するかは、きわめて政治的な問題になります。それゆえに、歴史的文字の問題と少数利用者文字の問題は、別の次元の問題です。(水野光朗)

コラム「オープンソース事情『OSS 事例: Debian』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■ Linux については、Debian に限らず、他のディストリビューシ

ョンの事例も取り上げてほしいと思いました。(水野光朗)

■ Linux について詳しくない読者であっても理解しやすく、興味を持てる記事だと思います。他のディストリビューションについても同様な特集をしてほしいと思います。(平島大志郎)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■ 政府系ネットワークの構成、セキュリティ対策などを紹介してほしい。また、さまざまな最適化計画が公表されているが、全体を俯瞰するような解説もあるとありがたい。(黒田幸明)

■ 携帯電話の特集をお願いしたい。(匿名希望)

■ 本誌が配達されても、わくわくしない。なぜかは私にも判らない。でも、同じ気持ちの会員が多い、と想像しています。(鹿島鉄雄)

■ 情報処理産業に携わる実務家が読んでためになる記事を増やして欲しい。インドや中国に追い抜かれること必至といわれていますが、現場としてもなんとかしたいと気ばかり焦る今日この頃です。(根津芳香)

■ 情報処理分野の仕事に将来性を感しない学生が増えてきているようで、学部学生の減少にもつながっているようです。これからの日本における情報処理分野について、将来性を展望するような記事の必要性を強く感じます。(平島大志郎)

■ コンテンツ保護技術の現状について取り上げて欲しい。(匿名希望)

■ FIT2006 に参加できなかったのですが、直前に「IT 分野から激震が起る! ~産業界から大学への「直接行動」が始まった~」という刺激的タイトルのシンポジウムの開催内容が送られてきました。また、企画として、情報教育に関するシンポジウムもあったようです。FIT2006 の開催報告も含め、広い意味での情報教育に関する特集を組んでいただきたいと思います。(匿名希望)

【本欄担当 大城正典, 大槻知史/書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については <URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。<URL: <http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 情報処理学会 会誌編集部門
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4711.html>



IPSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2006年				
	論文誌「情報システムを支えるコンピュータセキュリティ技術の再考」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-N.html	11月24日(金)		
	論文誌「情報教育～理念・理論・実践～」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-H.html	11月30日(木)		
	論文誌「ソフトウェア工学の理論と実践」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-M.html	11月30日(木)		
	平成18年度業績賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/gyoseki/h18boshu.html	12月8日(金)		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-G.html	12月31日(日)		
11月16日(木)	連続セミナー 2006 第5回「経営戦略とIT戦略」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2006/2006-5.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
11月16日(木)	第85回情報学基礎研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/FI85.html	9月8日(金)	当日のみ	筑波大学東京キャンパス(秋葉原)
11月16日(木)	～第125回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CG125.html	9月15日(金)	当日のみ	京都大学楽友会館
11月17日(金)	～グループウェアとネットワークサービスワークショップ2006 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CG125.html	9月29日(金)	10月15日(日) 事前登録は上記 事前登録後也可	暖香園(静岡県伊豆伊東温泉)
11月16日(木)	～第129回マルチメディア通信と分散処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DPS129.html	9月19日(火)	当日のみ	NTT武蔵野研究開発センター
11月17日(金)	～第39回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・第27回 高度交通システム・第15回放送コンピューティング研究グループ 合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MBL39ITS27.html	9月20日(水)	当日のみ	広島市立大学
11月21日(火)	第109回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/AL109.html	9月2日(土)	当日のみ	長崎大学 文教キャンパス
11月21日(火)	～第121回ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/AL109.html	9月20日(水)	当日のみ	情報通信研究機構知識 創成コミュニケーション 研究センター(けいはんな)
11月22日(水)	～第176回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/HL176.html	8月31日(木)	当日のみ	鹿児島大学
11月23日(木)	～分散システム/インターネット運用技術シンポジウム2006 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/S-DSM2006.html	8月21日(月)		ハウステンボスコトレ ヒト会議室
11月24日(金)	第154回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SE154.html	9月29日(金)	当日のみ	大阪大学 吹田キャンパス
11月28日(火)	～第127回システムLSI設計技術研究発表会(デザインガイア2006) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SLDM127.html	9月15日(金)	当日のみ	北九州国際会議場
11月30日(木)	～第162回計算機アーキテクチャ研究発表会(デザインガイア2006) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ARC162.html	9月15日(金)	当日のみ	北九州国際会議場
11月29日(水)	短期集中セミナー会誌11月号特集企画「Web2.0の現在と展望」 参加案内		11月24日(金) 当日も可	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
11月29日(水)	～コンピュータシステムシンポジウム(ComSys2006) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ComSys2006.html	7月14日(金)		名古屋国際会議場
11月30日(木)	～マルチメディア通信と分散処理ワークショップ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/S-DPSWS2006.html	8月25日(金)		霧島ハイツ
11月30日(木)	～データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム(DBWeb2006) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DBWeb2006.html	9月8日(金)		京都大学 百周年時計台記念館
12月1日(金)	～第58回デジタルドキュメント・ 第34回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DD58EIP34.html	9月20日(水)	当日のみ	松下電工(株) 東京本社
12月6日(水)	連続セミナー 2006 第6回「情報システム部門の役割と人材育成」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2006/2006-6.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
12月8日(金)	第35回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CSEC35.html	10月9日(月)	当日のみ	東京工科大学
12月9日(土)	第87回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CE87.html	10月23日(月)	当日のみ	静岡県立大学
12月12日(火)	東海支部主催講演会「Webアプリケーション(注釈記入)と 情報共有技術」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/		参加費無料 (参加資格は 問いません)	東桜会館1F 第2会議室(名古屋市)
12月14日(木)	～人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2006」 http://www.cis.doshisha.ac.jp/htsumura/jinmonkon2006/purport/purport.html	9月15日(金)	定員になり次第	同志社大学
12月15日(金)	～第68回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MUS68.html	10月16日(月)	当日のみ	京都精華大学
12月16日(土)	第5回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/EC5.html	10月13日(金)	当日のみ	京都市芸繊維大学
12月21日(木)	～第62回数理モデル化と問題解決・第7回バイオ情報学合同 研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MPS62BIO7.html	10月26日(木)	当日のみ	電気通信大学
12月21日(木)	～第64回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SLP64.html	10月20日(金)	当日のみ	名古屋大学

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2007年				
	平成18年度長尾真記念特別賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/nagao/h18boshu.html	1月19日(金)		
	論文誌「ゲームプログラミング」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-J.html	1月19日(金)		
	論文誌「インタラクシヨンの理解とデザイン」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-F.html	3月31日(土)		
	論文誌「人間中心のユニバーサル/ユビキタス・ネットワークサービス」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-C.html	4月6日(金)		
1月11日(木)～	第157回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	10月25日(水)	当日のみ	立命館大学(びわこ・くさつキャンパス)
1月12日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CVIM157.html			
1月15日(月)～	SAINT2007 The 2007 International Symposium on Applications and the Internet http://infonet.cse.kyutech.ac.jp/conf/saint07/	7月1日(土)		広島国際会議場
1月17日(水)～	2007年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム(HPCS2007) http://www.hpcc.jp/hpcs/			つくば国際会議場
1月18日(木)	第128回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SLDM128.html	11月10日(金)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月18日(木)	東海支部主催講演会「ウニ卵黄タンパク質の研究とICT」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/		参加費無料 (参加資格は 問いません)	愛知県立大学 学術文化交流センタ 小ホール
1月18日(木)～	第62回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/PRO62.html	11月10日(金)	当日のみ	メルパルク沖繩
1月19日(金)	第163回計算機アーキテクチャ・第3回組込みシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ARC163EMB3.html	11月20日(月)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月22日(月)～	Asia and South Pacific Design Automation Conference 2007 (ASP-DAC2007) http://www.aspdac.com/aspdac2007/	7月10日(月)		パシフィコ横浜
1月23日(火)	ソフトウェアジャパン2007			タワーホール船堀
1月25日(木)～	第141回データベースシステム・第62回グループウェアとネットワークサービス・第16回放送コンピューティング研究グループ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DBS141GN62.html	11月24日(金)	当日のみ	メーブル有馬 (神戸市有馬温泉)
1月26日(金)	第59回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DD59.html	11月22日(水)	当日のみ	九州大学 伊都キャンパス
2月19日(月)～	第126回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CG126.html		当日のみ	新宿三井ビル
2月20日(火)	第8回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/sighp/bio/index.html		当日のみ	大阪大学豊中キャンパス
3月5日(月)	第69回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/69kai/index.html			早稲田大学 理工学部 (大久保キャンパス)
3月6日(火)～	ネットワーク生態学研究グループ第3回シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html			中央大学・後楽園 キャンパス
3月15日(木)～	インタラクシヨン2007 http://www.interaction-ipsj.org/	10月26日(木): 一般講演 12月19日(火): インタラクティブ発表 ポスター発表		学術総合センター/ 一橋記念講堂
3月16日(金)	FIT2007 第6回情報科学技術フォーラム			中京大学 豊田キャンパス
9月5日(水)～	International Workshop on Security (IWSEC2007)			奈良県新公会堂 (予定)
9月7日(金)				
10月29日(月)～				
10月31日(水)				

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 10月16日 人材募集情報(10月)更新しました
- 10月5日 ソフトウェアジャパン2007ではスポンサー・サポーターを募集しております
- 10月2日 短期集中セミナー 会誌11月号特集企画「Web2.0の現在と展望」参加申込受付開始

[学会からのお知らせ]

- 10月13日 「インタラクシヨンの理解とデザイン」特集の論文募集
- 10月12日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました
- 10月10日 日本学術会議: 声明「科学者の行動規範について」
- 10月2日 平成19年度代表会員候補者募集
- 10月2日 平成18年度長尾真記念特別賞・業績賞候補者推薦募集
- 9月22日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました
- 9月21日 「組込みシステム工学」特集の論文募集, 「ゲームプログラミング」特集の論文募集

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿〔募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先〕を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000円(税込)
賛助会員(企業) 31,500円(〃)
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金4,000円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■兵庫県立大学大学院工学研究科電気系工学専攻

募集人員 助手 1名
所属 電子情報工学部門
専門分野 工学: 計算機システムあるいは情報ネットワーク応用に関する分野
担当科目 大学院: 電気系工学特別演習D, 電気系工学特別実験D
学部: 電気系実験II, 情報処理演習II, 卒業研究
応募資格 着任時に博士の学位を有するかまたは取得見込みで, 研究と教育に熱意がある方(30歳程度以下が望ましい)
着任時期 平成19年4月1日
提出書類 履歴書(高等学校卒業以降記述の学歴, 職歴, 賞罰), 研究業績リスト(著書, 学術誌論文, Proceedings, その他の発表, 解説・記事, 特許, 受賞, 代表者・分担者を明記した研究費獲得状況, 学会および社会における活動状況, その他特記事項などに区分して記述), 主要論文別刷(3編程度, コピー可), 研究業績の概要(1000字程度), 着任後の教育・研究への抱負(1000字程度), 推薦書1通(または照会可能な方1名の氏名と連絡先) *A4用紙横書きを原則とする
応募締切 平成18年11月20日(必着)
送付先 〒671-2280 兵庫県姫路市書写2167 兵庫県立大学企画調整課気付 大学院工学研究科長 杉江他曾宏 「電子情報工学部門教員 応募書類在中」と朱書し簡易書留 *応募書類は原則として返却いたしません
照会先 教員選考委員長 山田義博(教授, 電気系工学専攻長) E-mail:koubo68@eng.u-hyogo.ac.jp Tel(079)267-4868 Fax(079)267-4855
その他 【任期】7年(再任をする場合には1回を原則とし, 再任後の任期は5年とする。ただし, 特別の事情があると認められる場合は, 一定の手続きを経た上で, 例外的に再々任を認めることがある)
【選考方法】書類審査および面接

■湘南工科大学コンピュータ応用学科

募集職種 教授 1名
専門分野 コンピュータ応用技術にかかわる分野
担当科目 機械工学または電子工学における基礎的科目, チームプロジェクトラーニング(2, 3学年の学生実習に相当)の指導, 卒業演習, 卒業研究, 詳細は問い合わせてください
応募資格 博士の学位を有し, 私立大学における教育・研究に熱意と能力がある方, 上記の専門分野で研究実績があり, 研究の遂行・指導ができること, 大学院での指導ができること, 年齢は55歳未満が望ましい
着任時期 平成19年4月1日
提出書類 自筆履歴書, 研究業績リスト(論文, 国際学会発表, 著書などに分類, 国内口頭発表は不要), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), 今後の教育研究についての抱負(A4用紙1枚以内), 推薦書1通または本人をよく知る方2名の氏名・所属・住所・連絡先
応募締切 平成18年11月30日
送付先 〒251-8511 神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-1-25 湘南工科大学事務局長 難波洋雄 E-mail:namba@center.shonan-it.ac.jp Tel(0466)35-2055 「コンピュータ応用学科教員応募書類」と朱書し書留
照会先 工学部コンピュータ応用学科長 日高建彦 E-mail:hidaka@sc.shonan-it.ac.jp Tel(0466)30-0192 または上記事務局長

■名古屋大学大学院情報科学研究科情報システム学専攻

募集人員 教授 1名
 専門分野 新世代情報システムに対応するソフトウェアの理論および開発方法論(キーワード例: Dependable/secure software, Distributed/real-time software, Programming environment, Software paradigm, Software platform, Software validation and verification, System program)
 担当科目 大学院情報科学研究科情報システム学専攻におけるセミナー, 演習, 講義など. および, 工学部電気電子・情報工学科情報工学コースにおける講義など
 応募資格 卓越した研究業績のある博士号取得者(50歳くらいまでの方が望ましい), 情報システム学の教育に熱意を持っている方
 着任時期 平成19年4月1日以降のなるべく早い時期
 提出書類 下記Webページ参照
 応募締切 平成18年11月30日(必着)
 照会先 大学院情報科学研究科 情報システム学専攻長 高田広章 E-mail:hiro@ertl.jp Tel(052)789-5887
 その他 Webページ (<http://www.is.nagoya-u.ac.jp/>)

■広島市立大学情報科学研究科システム工学専攻(システム工学科)

募集人員 教授または准教授(または講師) 1名
 専門分野 情報セキュリティ, 情報理論, 符号化理論およびそれらの関連分野
 担当科目 情報セキュリティ概論, 情報理論など
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院(博士課程)の担当が可能であること
 着任時期 平成19年4月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 下記Webページ参照
 応募締切 平成18年11月30日(必着)
 送付先/照会先 〒731-3194 広島県広島市安佐南区大塚東3-4-1 広島市立大学情報科学部 教授 大場 充
 E-mail:ohba@cs.hiroshima-cu.ac.jp Tel(082)830-1612 「セキュリティ分野応募書類在中」と朱書き書留
 その他 詳細はWebページ (<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/>)を参照ください

■福岡工業大学情報工学部情報システム工学科

募集人員 教授, 助教授, または講師 いずれか1名(学校教育法により呼称が変わる可能性がある)
 専門分野 システム制御工学に関連したロボット工学およびその応用分野, 実験系の研究, 開発を行っている方
 担当科目 基礎ロボット工学, デジタル制御, 電子情報工学基礎, 情報処理工学実験など
 応募資格 専門分野の研究業績があり, 次の各項に該当する方: ・博士の学位を有する方, または着任までに取得できる方 ・大学院の教育, 研究指導が可能なる方 ・30代から60代まで ・情報処理関連の資格取得教育の経験のある方 ・教育歴のあることが望ましい
 着任時期 平成19年4月1日
 提出書類 履歴書(学歴, 職歴, 学会および社会における活動など, 別途FDなどで提出のこと), 研究業績リスト(査読付き論文, 国際会議, 紀要を区別のこと), 主要論文別刷(5編程度), これまでの主要研究の概要と今後の研究計画, および教育に対する抱負(JABEE認定を含む, 1000字程度)
 応募締切 平成18年12月1日(必着)
 送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 重松 亮 Tel(092)606-0647 (ダイヤルイン)
 Fax(092)606-7310 「情報システム工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として, 応募資料は返却いたしませんのでご了承ください. 返却をご希望の方は, その旨お申し出ください
 照会先 情報システム工学科 学科長 庄司文啓 Tel(092)606-4991 (ダイヤルイン)

■岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻(計算機科学講座)

募集人員 助手 1名(平成19年度より助教予定)
 専門分野 画像処理, コンピュータビジョン, 関連情報分野
 応募資格 着任前に博士の学位を有すること(30歳程度以下が好ましい)
 着任時期 平成19年4月1日またはそれ以前
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷, 今後の教育研究計画(1000字以内), 推薦書(ただし, 応募者について照会可能な方2名以上の氏名・連絡先を推薦書に代えることができる)
 応募締切 平成18年12月14日(消印有効)
 送付先/照会先 〒700-8530 岡山県岡山市津島中3-1-1 岡山大学工学部情報工学科 学科長 山崎 進
 E-mail:yamasaki@momo.it.okayama-u.ac.jp 「教員応募書類在中」と朱書き書留

■福岡工業大学情報工学部情報工学科

募集人員 助教授または講師 1名(なお、左記の職名は法令改正前の呼称です)
 専門分野 情報工学
 担当科目 コンピュータソフトウェア工学または知能情報メディア工学, 情報基礎ゼミナール, コンピュータリテラシー, コンピュータ科学, 情報工学実験, 情報工学特別講義
 応募資格 専門分野のうち、とくに学科目に関連ある分野で研究業績があり、次の項目に該当する方: ・博士の学位を有する方、または着任時まで取得見込みの方 ・大学院の教育, 研究指導が可能な方 ・着任時40歳以下の方 ・教育経験のある方が望ましい
 着任時期 平成19年4月1日
 応募締切 平成18年12月15日(必着)
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(査読付き論文とその他の論文を区別のこと), 主要論文別刷(5編程度), これまでの研究概要と今後の研究計画, 本学における教育に対する抱負, 博士の学位取得見込みの場合は指導教授の推薦書
 送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 重松 亮 Tel(092)606-0647 (ダイヤルイン)
 Fax(092)606-7310 「情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として、応募資料は返却いたしませんのでご了承ください。返却をご希望の方は、その旨お申し出ください。
 照会先 情報工学科 学科長 西原 賢 E-mail:mr-nisi@fit.ac.jp Tel(092)606-4867 (ダイヤルイン) Fax(092)606-4867

■福井大学

募集人員 教授または准教授 1名
 所属 大学院工学研究科情報・メディア工学専攻に属し、系列の工学部情報・メディア工学科教員を兼務
 専門分野 量子デバイス, 量子暗号・量子現象を含む次世代コンピュータネットワークなど
 担当科目 量子デバイス, 次世代ネットワーク技術, など。なお、学部の専門科目なども他の教員と同程度、ご担当いただきます
 応募資格 博士の学位を有し、大学院の研究指導担当が可能な方
 着任時期 平成19年6月1日
 提出書類 履歴書(高等学校卒業後のものでよく、教育歴も明記してください。なお連絡可能なE-mailアドレスを明記願います), 業績リスト(学術論文, 査読付き国際会議論文, その他), 主要論文別刷(コピー可), 今までの研究概要と着任後の研究・教育に関する抱負(各1000字程度), 推薦書もしくは応募者の方について照会可能な方の氏名・所属・連絡先
 応募締切 平成18年12月20日(必着)
 照会先 情報・メディア工学専攻長 桜井哲真 E-mail:tetsuma@fuis.fuis.fukui-u.ac.jp Tel(0776)27-8419 Fax(0776)27-8751
 その他 【選考方法】書類審査により数名を選抜し、その後の面接により、適任者を決定。面接時の旅費はご負担願います
 詳細はWebページ (<http://www.fuis.fukui-u.ac.jp/>)を参照ください

■大分工業高等専門学校制御情報工学科

募集人員 助教授 2名(1名は教授でも可)
 専門分野 情報工学および関連工学分野
 担当科目 情報リテラシー, 応用数学(ラプラス変換, フーリエ級数, 複素関数など, 統計確率), 情報数学, 情報理論, 計算機アーキテクチャ, アルゴリズム, データベース, 実験, 知識工学, 画像工学, 専門英語から数科目
 応募資格 博士の学位を有し、高専の教育と学生指導に熱意があり、担当科目に関する研究実績を有する方
 着任時期 平成19年4月1日
 提出書類 履歴書, 業績リスト(A4用紙, 様式自由, 著書, 論文, 口頭発表, その他など種類別に分類して記載), 主要研究論文別刷(コピー可), 高専着任後の抱負(教育・研究に対する抱負, 提案などをA4用紙に1000字程度で記述)
 応募締切 平成18年12月25日(必着)
 送付先 〒870-0152 大分県大分市牧1666 大分工業高等専門学校 庶務課人事係 「制御情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 照会先 制御情報工学科 鶴沢偉伸 E-mail:turusawa@oita-ct.ac.jp Tel(097)552-6893
 その他 詳細はWebページ (<http://www.oita-ct.ac.jp/>)の公募情報を参照ください

■豊橋技術科学大学工学部情報工学系

募集人員	下記の専門分野で (a)教授または助教授／講師 1名 (b)教授 1名
専門分野	(a)計算機アーキテクチャ, 計算機ソフトウェア (基本ソフトウェア, プログラミング言語)などの分野 (b)人工知能, 生体情報, ユビキタスインタフェースなどの分野
応募資格	博士号取得者で, 大学院での研究指導ができる方
着任時期	平成19年4月1日
提出書類	履歴書, 研究業績リスト (学術論文, 国際会議論文, 著書, 解説論文, 特許などに分けて記載), 主要論文別刷 (5編), 活動業績リスト (代表者としてかかわったプロジェクト, 学会での役職, 学術会議の開催, 標準会活動, 科研費などの研究費獲得実績などに分けて記載), 現在までの研究経過と今後の研究計画 (A4用紙2枚), 教育に対する抱負 (A4用紙1枚), 応募者について意見を伺える2名の氏名・所属・連絡先 (うち1名は外国人が望ましい)
応募締切	平成18年12月29日 (必着)
送付先	〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学情報工学系・系長 中川聖一 「応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしませんので, ご了承ください
照会先	(a)情報工学系・計算機工学講座 中川聖一 E-mail:nakagawa@slp.ics.tut.ac.jp Tel(0532)44-6759 (b)情報工学系・情報処理工学講座 青野雅樹 E-mail:aono@ics.tut.ac.jp Tel(0532)44-6764
その他	採否は個別に連絡いたします。選考で面接を実施する場合があります。本学の定年は65歳です 詳細はWebページ (http://www.tut.ac.jp/)でご覧になれます

■広島市立大学情報科学研究科システム工学専攻 (システム工学科)

募集人員	助教 (または助手) 1名
専門分野	情報通信エレクトロニクス, 通信方式, 信号処理およびそれらの関連分野
担当科目	通信工学, 情報処理, システム工学実験など
応募資格	博士の学位を有し (または取得見込み), 教育・研究に熱意のある方
着任時期	平成19年4月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類	下記Webページ参照
応募締切	平成19年1月5日 (必着)
送付先/照会先	〒731-3194 広島県広島市安佐南区大塚東3-4-1 広島市立大学情報科学部 教授 生岩量久 E-mail:haeiwa@im.hiroshima-cu.ac.jp Tel(082)830-1678 「教員応募書類在中」と朱書き書留
その他	詳細はWebページ (http://www.hiroshima-cu.ac.jp/)を参照ください

■広島市立大学情報科学研究科知能工学専攻 (知能工学科)

募集人員	教授, 准教授または講師 1名
専門分野	言語音声理解
担当科目	自然言語処理, 知能工学科共通科目, 情報系基礎教育科目など
応募資格	博士の学位を有し, 大学院 (博士課程)の担当が可能であること
着任時期	平成19年4月1日
提出書類	下記Webページ参照
応募締切	平成19年1月5日 (必着)
送付先/照会先	〒731-3194 広島県広島市安佐南区大塚東3-4-1 広島市立大学情報科学部 教授 北上 始 E-mail:kitakami@its.hiroshima-cu.ac.jp Tel(082)830-1587 (直通) 「知能工学専攻教員応募書類在中」と朱書き書留
その他	詳細はWebページ (http://www.hiroshima-cu.ac.jp/)を参照ください

■広島工業大学情報学部情報工学科

募集人員	教授または准教授 (現在の助教授の職名を変更の予定) 1名
専門分野	計算機科学 (組込みソフトウェア, コンピュータアーキテクチャ, デジタルシステム, ロボティクス)に関する分野
担当科目	計算機およびシステムに関する科目
応募資格	博士の学位を有する方。教授の場合: 年齢60歳くらいまでの方。准教授の場合: 年齢50歳くらいまでの方。上記分野の講義および実験・実習科目を担当でき, 教育・研究に熱意があり, 学協会などでも活動され, 社会的貢献をされている方。大学院 (博士前期課程)の授業および研究指導を担当可能な方
着任時期	平成19年4月1日
提出書類	履歴書, 健康診断書, 推薦書, 教育研究業績リスト (論文, 著書, 報告書, 特許, 現在の教育・研究あるいは業務の内容, 学会活動歴など), 主要論文別刷 (5~7編, コピー可), 着任後の教育研究に関する抱負 (1000字程度)
応募締切	平成19年1月6日 (必着)
送付先	〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2-1-1 広島工業大学 事務局総務部 柳川周郎 E-mail:yanagawa@jim.it-hiroshima.ac.jp Tel(082)921-3123 Fax(082)921-8934 「情報工学科応募書類在中」と朱書き簡易書留または宅配便など授受の確認できる方法 *提出書類は, 選考以外の目的には使用いたしません。審査終了後, 返却いたします

■旭川工業高等専門学校電気情報工学科

募集人員 教授 1名
 専門分野 情報工学に関する分野
 応募資格 博士の学位あるいは技術士の資格を有する55歳くらいまでの方
 着任時期 平成19年4月1日
 応募締切 平成19年1月10日(必着)
 提出書類 履歴書(第1号様式), 研究業績リスト(第2号様式), 主要著書・論文別刷(コピー可), 研究・開発の履歴リストおよび研究・開発の概要(第3号様式), 教育業績リスト(第4号様式), 高専教育に対する抱負(第5号様式), 推薦書(自薦などで推薦書が得られない場合は別に定める書類)
 送付先 〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2-1-6 旭川工業高等専門学校庶務課人事係 Tel(0166)55-8105 郵送の場合は「電気情報工学科教員応募書類」と朱書き簡易書留
 照会先 電気情報工学科長 土橋 剛 E-mail:dobashi@asahikawa-nct.ac.jp Tel/Fax(0166)55-8018
 その他 詳細はWebページ(<http://www.asahikawa-nct.ac.jp>)をご覧ください

■富山大学大学院理工学研究部(兼:工学部知能情報工学科)

募集人員 (a)教授 1名 および (b)助教授または講師 1名
 専門分野 (a)情報工学(パターン情報工学, 知識工学, 生体情報工学)
 (b)情報通信工学(情報通信ネットワーク, モバイルシステム, センサネットワークなどが望ましい)
 担当科目 (a)パターン認識, 人工知能, 生体情報など (b)情報ネットワーク, 情報理論など
 着任時期 平成19年4月1日(予定)
 応募資格 情報関連分野で博士の学位を有すること (b)着任時点で40歳以下が望ましい
 応募書類 履歴書, 研究業績などのリスト, 主要論文別刷(5編程度), 研究の概要, 研究計画・教育に対する抱負, 当方より応募者についてご意見を伺える方2名のお名前とご連絡先
 応募締切 平成19年1月12日(必着)
 送付先/照会先 〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学工学部知能情報工学科 学科長 山淵龍夫
 E-mail: yamabuti@eng.u-toyama.ac.jp Tel/Fax(076)445-6753
 その他 詳細はWebページ(<http://www.u-toyama.ac.jp/jp/employ/index.htm>)を参照ください

■九州大学大学院システム情報科学研究院知能システム学部門

募集人員 教授 1名
 所属 情報メディア講座
 専門分野 人間の知性に限りなく近いシステムの実現を目指す知能処理, メディア情報処理, ロボティクスなどの知能システム学分野, デジタルヒューマン, デジタルメディシン, バイオインフォマティクスなど, 知能システム学のシステム生命科学関係への応用分野
 着任時期 平成19年10月1日までに着任のことが望ましい
 提出書類 履歴書, 研究歴(業績リスト, 受賞歴, 学会活動など), 教育に従事した経験がある場合はその概略, 主要論文別刷(5編程度, コピー可), 最近10年以内の研究開発活動の概略, 研究・教育に関する抱負(2000字程度), 応募者に関する所見を求める2名の方の氏名・連絡先
 応募締切 平成19年1月15日(必着)
 送付先 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744 九州大学大学院システム情報科学研究院知能システム学部門 部門長 横尾 真
 照会先 知能システム学部門 谷口倫一郎 E-mail:rin@limu.is.kyushu-u.ac.jp Tel/Fax(092)802-3594
 その他 【選考方法】書類選考を行い, 必要に応じて面接を実施させていただきます
 詳しくはWebページ(<http://www.isee.kyushu-u.ac.jp>)を参照ください



ソフトウェアジャパン 2007 開催のご案内

テーマ: 社会を変えるイノベーション

<http://www.ipsj.or.jp/10jigyoforum/software-j2007/>

有
料
会
告

開催日時:平成 19 年 1 月 25 日(木) 9:30-17:30
開催会場:タワーホール船堀 (都営新宿線 船堀駅下車 徒歩1分)
主催:情報処理学会
協賛(予定):独立行政法人 情報処理推進機構ソフトウェア・エンジニアリング・センター, 社団法人 情報サービス産業協会,
 社団法人 日本情報システムユーザ協会, 社団法人 電子技術産業協会, XML コンソーシアム,
 社団法人 電子情報通信学会, 日本ソフトウェア科学会
後援(予定):文部科学省, 総務省, 経済産業省

情報処理学会では「日本のソフトウェアに新しい風を起こす」という理念を掲げ、ソフトウェア分野での産・官・学の交流を促進する場として、2004 年 10 月に「ソフトウェアジャパン 2004」を、2006 年 2 月に「ソフトウェアジャパン 2006」を開催し、多数の企業・大学等からのご支援を頂き、大きな反響を得ました。 当会ではこの活動をさらに発展させ、IT に関する幅広い課題を実務家の視点からオープンに議論できる、開かれたコミュニティとして「IT フォーラム」を今年度創設し、以下の 7 つのフォーラムが活動を始めました。

IT アーキテクト/CIO フォーラム	サービスサイエンス フォーラム
IT ダイバーシティ フォーラム	福祉情報システム フォーラム
イノベティブ社会基盤 フォーラム	ユーザスタディ フォーラム
Web2.0 フォーラム	

このような IT フォーラムの活動を中心に、IT による「社会を変えるイノベーション」の創出をテーマとして、IT ベンダのみならず IT ユーザの各分野の技術者、研究者、経営者、また、学界・官公庁関係の方々が、ともに問題意識を共有し、議論、交流を深める場として「ソフトウェアジャパン 2007」を開催致します。皆様、奮ってご参加下さい。

■プログラム(プログラム詳細は、Web ページへ逐次掲載します)

9:30-11:55 第1セッション:イノベーション セッション
テクノロジー・社会・ビジネスの観点からの講演
11:55-12:05 IT フォーラムの紹介(IT フォーラムセッションのイントロダクション)
徳田 英幸(情報処理学会 技術応用運営委員会委員長、 慶應義塾大学環境情報学部教授兼政策・メディア研究科委員長)
13:15-15:15 第2セッション:IT フォーラム セッション
以下 6 つの IT フォーラムによるセッション ・サービスサイエンス フォーラム ・福祉情報システム フォーラム ・ユーザスタディ フォーラム ・IT アーキテクト/CIO フォーラム ・Web2.0 フォーラム ・イノベティブ社会基盤 フォーラム
15:30-17:35 第3セッション:ザ・ジャパンソフトウェア セッション
日本発の世界に誇るジャパンソフトウェアの講演
17:50-19:45 懇親会

- 参加費: 一般(会員・非会員共): 5,000 円 / 一般 IT フォーラム登録者(会員・非会員共): 無料
 学生(会員・非会員共): 無料
- 懇親会費: 無料
- 参加申込: 標記のソフトウェアジャパン 2007 Web ページから申込み下さい。
- 参加申込〆切り: 平成 19 年 1 月 18 日(木) 17:00
- 問合せ先: 情報処理学会事業部門 Tel.(03)3518-8373 E-mail:jigy@ipsj.or.jp
 詳細は Web ページをご覧下さい。

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ、1/2ページまたは 1/4ページ	（主催・共催）	
			1ページ	52,500円
			1/2ページ	31,500円
			1/4ページ	21,000円
			（協賛）	
広告として取り扱う				
人材募集	国公私立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10行程度	国公私立教育機関、国公立研究機関	21,000円
			賛助会員（企業）	31,500円
			賛助会員以外の企業	52,500円
			*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。	

■申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします。
（1ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し、E-mailまたはFax、郵送にてお送りください。
[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]
*なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限

毎月15日を締切日とし、翌月号（15日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

（社）情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

学生会員のみなさまへ

平成18年度研究会の中から
無料で1件登録できます！

今すぐ
チェックして
申し込もう！



<平成18年度研究会一覧>



お申し込み

登録希望研究会の申込欄に○をご記入ください。
無料申請は1件のみです。



事務局へ FAX (03-3518-8375)

年 月 日

会員番号

E-Mail

フリガナ
氏名

お問合せは

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 1-5
化学会館 4F
(社) 情報処理学会 研究部門 調査研究担当
Tel(03)3518-8372 (研究部門直通)
Fax(03)3518-8375 (共通)
E-mail:sig@ipsj.or.jp

データベースシステム
ソフトウェア工学
計算機アーキテクチャ
システムソフトウェアとオペレーティング・システム
システム LSI 設計技術
ハイパフォーマンスコンピューティング
プログラミング
アルゴリズム
数理モデル化と問題解決
組込みシステム
マルチメディア通信と分散処理
ヒューマンインタフェース
グラフィクスと CAD
情報システムと社会環境
情報学基礎
オーディオビジュアル複合情報処理
グループウェアとネットワークサービス
分散システム/インターネット運用技術
デジタルドキュメント
モバイルコンピューティングとユビキタス通信
コンピュータセキュリティ
高度交通システム
高品質インターネット
システム評価
ユビキタスコンピューティングシステム
自然言語処理
知能と複雑系
コンピュータビジョンとイメージメディア
コンピュータと教育
人文科学とコンピュータ
音楽情報科学
音声言語情報処理
電子化知的財産・社会基盤
ゲーム情報学
エンタテインメントコンピューティング
バイオ情報学

詳しくはこちら
Webからも申し込めます



<http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/toroku.html>

調査研究部門で働いているので、毎年5回程度シンポジウムの受付業務を依頼されます。全国大会やFITなどの受付の手伝いに行くこともあります。依頼されれば国内のどこへでも行くのですが、関東以外でやはり多いのは名古屋や関西方面です。今年度は、5月に大阪に行き、今月末には名古屋と京都に行くことになりそうです。

私はコンサートやライブなどに行くことが好きで、本当に好きなものは地方まで聴きに行ったりしますが、それもやはり名古屋・大阪が多いです。仕事と私用合わせたら、今年に入って何度東海道新幹線に乗ったことでしょう。以前、コンサートで名古屋に行った時に、当時領域委員長だった方に新幹線の待合室で目撃されたこともあります。世間は狭いですね。声をかけてくだされば、と思いましたがよほど私が疲れた顔をしていて声をかける雰囲気ではなかったのでしょうか…。

こうしてよく関西や名古屋に行っているのですが、いつも本来の目的以外はほとんど何もせず東京に戻ってきてしまいます。会員の方で出張が多い方もいらっしゃると思いますが、どう過ごされているのでしょうか。やはり仕事のみで帰ってくる感じでしょうか。せっかく地元を離れているのだから、少しは観光なり名物なりを堪能したいとは思いますが、なかなか実行できません。時間もあまりなく、体力的に辛いということもあって、会場とホテルの往復になってしまうことがしばしばです。これからも大阪や名古屋は行く機会が多そうなので、次回こそは時間さえあれば何か他の土地に来たということをしてしたいと思います。関西方面や名古屋近辺の方で、ちょっとしたお勧めスポットなどをご存じの方がいらっしゃいましたら是非教えていただきたいです。

(渡辺美也子/調査研究部門)

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事 業/国 際	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

ご意見をお寄せください！

【12月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4711.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
 2. ご所属 Tel. () -
 3. E-mail:
 4. 業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4-
 5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員（大学・大学院）(h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5-
 6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
 7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 7-
 8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8-
 9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載）(b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
 10. 今月号（2006年11月号）の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a…大変参考になった b…よい c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 特集：Web2.0の現在と展望
1. Web2.0とは何か 11-1-
 2. Web2.0の情報アーキテクチャ 11-2-
 3. Web2.0と集合知 11-3-
 4. ロングテールはマーケティングをどう変えるか？ 11-4-
 5. Web2.0時代の個人とコラボレーション 11-5-
- 株式の予測について 11-6-
- 電子透かし技術とその応用 11-7-
- オープンソース事情：OSS人材育成 11-8-
- 研究会千夜一夜：情報環境 (IE) 領域における研究会活動 11-9-
- グリッドと SOA からみる Web サービス標準技術：WSDL と WS-ResourceFramework 11-10-
- 21世紀のコンパイラ道しるべ・COINS をベースにして：高水準中間表現 HIR での最適化 11-11-
- 標準化よもやま話：ソフトウェアの標準化 11-12-
- ナレッジマネジメント：マルチモーダルコモンセンス知識の構築 11-13-
- これからの情報処理学会：IPSJ 2.0 11-14-
- これからの情報処理学会：情報処理学会は学会活動で IT を活用しているか？ 11-15-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
 12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

今回の特集の表題である「Web2.0」の定義については、いまでも議論が続いています。「技術者はビジネス用語だと思っている、ビジネスマンは技術用語だと思っているからまとまりようがない」という指摘もあります。それでも、お互いがコミュニケーションをとるための1つのきっかけとして機能しているからこそ、ここまで流行しているのかもしれませんが。

筆者がブログに関する研究を始めた時（2002～03年ごろ）にも、ブログの定義について侃々諤々の議論がありました。今になって振り返ってみると、いつのまにか論争は立ち消えになり、「ブログはブログである」という認識で固まった感があり

ます。同じように、「Web2.0はWeb2.0である」ということになるのでしょうか。

いずれにせよ、昨今のWebが大きな変化を遂げつつあるのは確かです。その中で、一過性の現象と本質的な変化をいかに見分け、コミットしていくかが重要ではないかと思います。

それにしても、執筆、編集作業を行っている間に新しい技術やトレンドが生まれては消えていく、その速さを改めて感じました。刊行時にすでに古くなっている事例があるかもしれませんが、ご容赦ください。

（大向一輝／本特集ゲストエディタ）

次号（12月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」量子コンピュータと量子計算（仮）

量子コンピュータその本質と、最近の研究展開—光子を用いた量子情報処理（仮）／ショアのアルゴリズムのための効率的な量子回路／量子回路の自動設計手法／量子探索アルゴリズムの基礎／量子—古典協調計算—オートマトンの場合—／量子通信計算量理論—花子から太郎へ—

解説

教養としてのコンピュータ・サイエンス教育—東京工業大学での試み—…………… 渡辺 治
エネルギーキーデバイスとして注目される電気二重層キャパシタ…………… 長谷部章雄
ストリーム暗号の最新動向—ユビキタス社会を実現するセキュリティ技術—…………… 田中俊昭 他

連載 グリッドとSOAからみるWebサービス標準技術／これからの情報処理学会／21世紀のコンパイラ道しるべ…COINSをベースにして

コラム オープンソース事情／研究会千夜一夜／標準化よもやま話

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か?

IT時代をリードしたい!

そうだ、情報処理学会に入ろう!



申込／照会先 社団法人 情報処理学会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

複写される方に

〔R〕＜学術著作権協会依託＞

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記のIn the USAに記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright

Clearance (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo

107-0052, Japan

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744

<http://www.copyright.com>

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20～50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)



NTTコムウェア
NTTコムウェア (株)



(株) NTT ドコモ



日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

OKI

沖電気工業 (株)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立アドバンスデジタル

Panasonic
ideas for life

松下電器産業 (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約90名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375